



ガハテホ通信

篠山ナマステ会 事務局 〒669-2221 篠山市西古佐921 振替口座 00930-6-29629



特集

ネパールから招聘
篠山市滞在の一週間

ネパール地震のために延期になっていた篠山ナマステ会設立15周年記念・ネパールからの招聘事業を、1月20日から26日まで実施しました。

篠山市へお招きしたのはセティディビ小学校長ナワラジ・サプコタ氏とSSSのビシユニユ・マニ・ネパール氏です。

お二人は市長を訪問して、ネパール地震への篠山市及び本会の支援について現地の人々の感謝の心を伝えました。また市教育委員会では教育次長より篠山市の教育について講話を頂き、これらの表敬訪問を通して篠山市への理解を一層深めて頂きました。

滞在中の一週間は、精力的に篠山市内諸学校の授業を参観し、またネパール現地の様子を伝えて先生方や児童生徒との交流を深めました。とりわけ、学校経営については校長先生から多くの示唆を頂くことができました。

1月24日の「ネパール現地からの報告会」には、市長、県会議員、市議会議長及び議員さんをはじめ会員等ご支援頂く多くの皆さんの参加を得て、お二人からは、現地の人々からみた15年間にわたる篠山ナマステ会活動の意義、並びにネパール地震の状況と復旧への歩みについて報告がなされました。

この度の招聘事業に多大のご支援、協力を戴いた篠山市並びに諸学校校長先生、関係の皆様にご心からのお礼を申し上げます。

篠山中学校を訪問

授業参観、施設見学の後 昨年「ぞうきん」を送った3年生にお礼と地震の報告、3年生一同から鉛筆の贈呈、学校長から学校経営について講話



ぞうきんや支援のお礼

二人は地震の報告と支援のお礼

校長は「篠山とは家族のようなつきあいで嬉しい」酒井市長は「地震の被害で大変だったでしょうが頑張ってください」と応援 教育委員会では篠山市の教育について研修



市長表敬訪問

幼稚部～中学部の授業参観

高等部と和太鼓演奏や合唱で交流 校内施設見学 特別支援教育を学ぶ



篠山養護学校訪問

城東小学校を訪問

登校指導、職員打合せに参加 授業参観 小学校生活の流れを研修 学校長から校長の仕事について講話 東部給食センターを訪問 給食を試食



小学校の一日を体験

市民センターまつりに参加

サプコ校長がセティディビ小学校では2014年末までに11回の卒業生178人が巣立つことを報告した。「地震後、新しい文房具や鞆を贈っていただいたおかげで勉強が続けられた。子ども達の気持ちもすぐに落ち着いた。校舎に入ったヒビや壊れたトイレを直すなど取り組むことはまだまだ多く、頑張りたい」と話した。

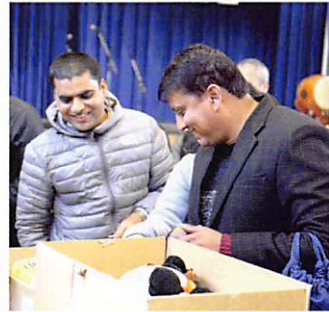
また、現地NGOのビシユニユ・マニ・ネパールさんは、篠山ナマステ会からの支援金でトタン屋根の仮設住宅を建設したことを報告。「今も寒さで多くの人がなくなっている。恒久住宅の建設が必要だ。仕事を無くした人も多く、外国に出稼ぎに行っている現状がある。働く場所の確保が重要だ。日本から教えられた道を我々も歩みたい」と話した。



地域とのふれあい

西紀北小学校を訪問

4年生と昔遊びなどで交流、地域と交流「北の子まつり」に参加
 児童や地域の人たちと有意義な時間を過ごし、地域と共に歩む学校のあり方を学ぶ。また、学校長から小学校の経営について講話。



広島研修

原爆資料館や原爆ドームを視察

ネパールでの平和教育の必要性を考えた。また、世界遺産の厳島神社も見学。



篠山での研修を終えて

サプコタ校長とビシユニマニ氏

篠山ナマステ会の皆さんが私たちに篠山市等を訪問する機会を設けていただき、多くの意義あることを学べました。心からお礼を申し上げます。私たちはとても多くの知識や考え方を学ぶことができました。

- 1 時間の有意義な使い方について
- 2 日本の社会は、礼儀正しい、他者を尊敬する、平和である、協力すること等を大切にしている
- 3 学校長の役割とその責務について
- 4 教科書の知識だけでなく、地域社会の参加や体験的活動が子どもたちに非常に価値がある
- 5 コミュニティの成員であることの自覚、良き自治、関係者との協力、地方行政の支援がコミュニティ開発には非常に必要である

日本から帰国後、私たちは教員、児童、SSSメンバー、女性グループメンバーに自分たちが見聞したことを分かち合いました。参加者はとても嬉しく思い、学校を変えていくことを約束しました。

そこで、私たちは学校と村人とでこれまでとは違った活動に取り組みました。

○2月上旬に、セティディビ小学校では一日社会見学で国立動物園とカトマンズの歴史的地区を訪れました。児童たちのほとんどはカトマンズを見るのは初めてで、大変意義がありました。

○合同会議(SSS、学校教員、学校運営委員会メンバー、数名の保護者、女性グループメンバー)が参加を持ち、様々な課題(学校や教育を変えていく方法、児童のきまり、学校給食、文房具、飲用水、学校や地域の公衆衛生など)について話し合いました。

○SSS代表は児童たち一人ひとりにサンダルを配りました。これはアメリカ合衆国にいる代表のお孫さんの支援によるものです。

○水プロジェクトがPHDの支援によって進んでいます。このプロジェクトが完了すれば、学校とコミュニティの公衆衛生は良くなり、清潔な環境をつくりだせます。

これからも、私たちはいろいろなことに挑戦していきたいと思えます。有難うございました



平成27年度(後半)活動報告

- 9月 18日 西脇市人権推進会議で活動発表及び
ネパールカレーを調理
- 10月 5日 10月定例幹事会
- 10月 6日 西紀北小学校へ出前授業
ネパール大地震の報告
- 10月10・11日 篠山味まつりで黒枝豆販売
- 10月 20日 西紀北小学校へ出前授業
ネパールのお菓子づくり
- 11月 2日 11月の定例幹事会
- 11月 7日 NGOネパール「虹の家」主催
ネパール帰国報告会参加
- 11月 14日 国際理解センター20周年記念行事参加
- 12月 1日 12月の定例幹事会
4Nのネパールカレンダー販売
- 12月 1～6日 第12回人権フェスタinささやまに参加
ネパール地震救済の報告をパネル展示
- 1月 11日 1月の定例幹事会
- 1月 17日 顧問岡本信洋先生葬儀参列
- 1月20～26日 ネパール招聘事業を実施
- 1月 24日 市民センターまつりに参加し
「現地からの報告会」を実施
- 1月 30日 PHD研修生と幹事との交換会
- 2月 1日 2月の定例幹事会
- 2月 2日 臨時事務局会議
次年度の方向性の検討①
- 2月 14日 PHD協会主催ネパール大震災報告参加
- 2月 15日 ファミリードームとの懇談会
臨時事務局会議
次年度の方向性の検討②
- 2月 27日 味間ふれあい館交流会参加
- 3月 7日 3月定例幹事会
- 3月 22日 3月臨時幹事会

定期総会のお知らせ

平成28年度定期総会を開催します。

日時 5月7日(土)13時30分より

場所 篠山市健康福祉センター二階

記念講演

名古屋NGOセンター常務理事の龍田成人様を招き、ネパール地震にかかる現状と今後の支援・交流活動についてお話を聞きます。

今後の展開

篠山ナマステ会は、今後、組織をより強固にするためNPO法人化を目指すと共に、支援・交流の対象地域をガハテ村からマハデプスタン地区、カブレ郡に広げ、交流のあり方を工夫していきます。

また、私たちの活動を通して、篠山市が推進している「ユネスコ創造都市」などの特色あるまちづくりにも、参加していきたいと考えています

